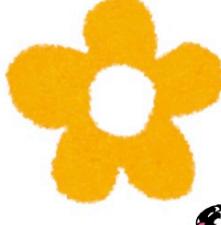


# はな 華



NO.63

2020年5月15日 第63号

発行：社会福祉法人 三幸福社会 特別養護老人ホーム 清華苑

発行責任者：総施設長 池田昌弘 編集：広報室（村上卓也、鶴岡大樹）

〒674-0051 明石市大久保町大窪 3104番1 TEL 078-934-0800 FAX 078-934-0830 <http://seikaen.jp>



# 新年度を迎えて思うこと

**施設長 池田 昌弘**

桜の花とともに新しい年度を迎えて頂きました。しかし、今年は例年と違い、新型コロナウィルスの影響で非常事態宣言が出されるような状況です。このような状況で皆様はいかがお過ごしでしょうか。

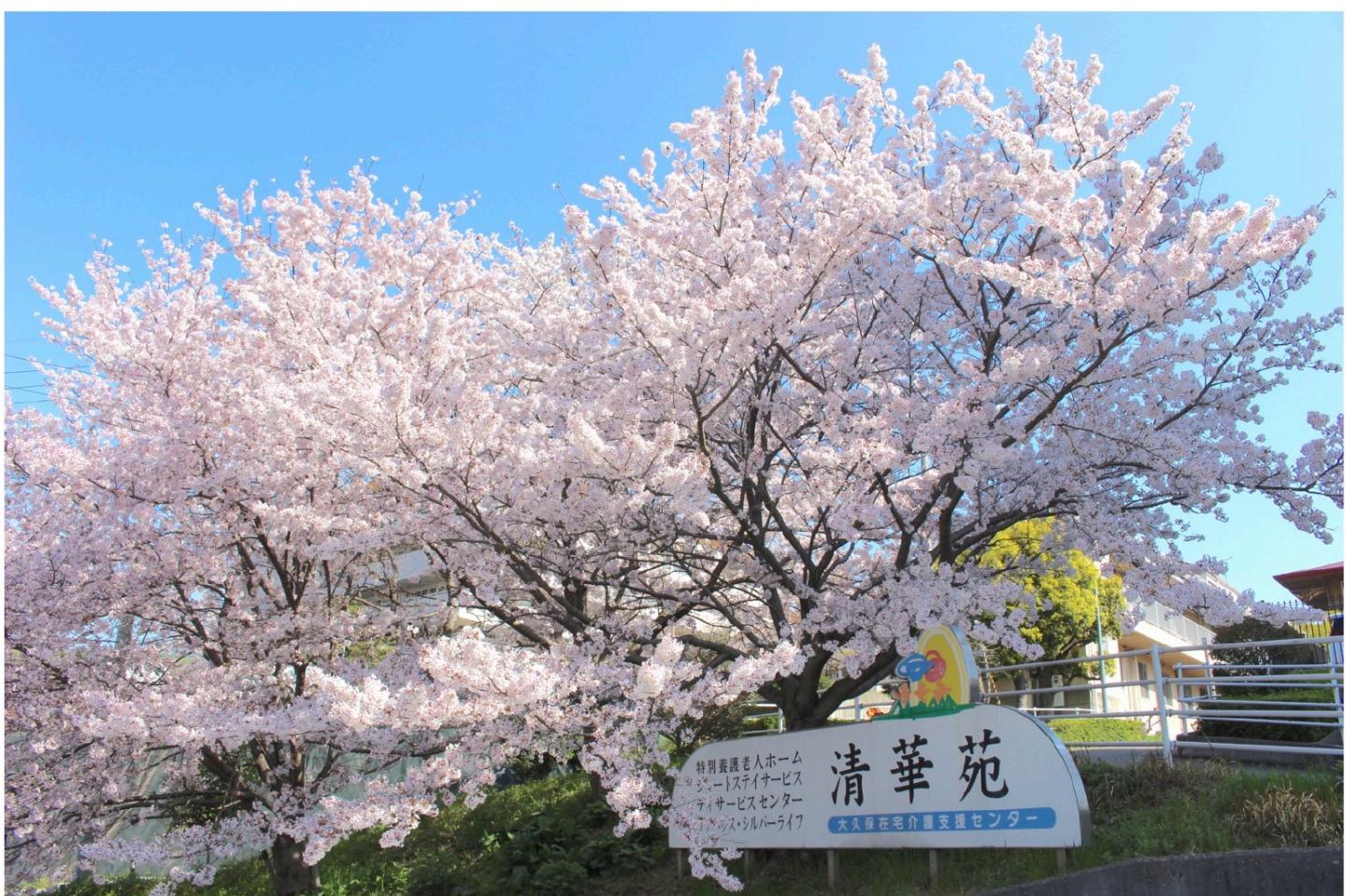
今年の一月に、法人からの指示で、研修に行かせてもらいました。その研修の中で、ジャパンネット高田の創始者である高田明さんの講演を聴きました。その講演の中で私が学んだことは、「伝えることからはじめよう」、「今を生きる。過去にとらわれない。いたずらに未来を恐れない。」という二つのことです。

人に考えを伝える時に、伝えたつもりだが、実は伝わっていないことがあります。情熱をもって伝えることが大切であり、伝わったのだろうかと常に考えることが必要です。

常日頃、私はいろいろな人と話をして十分に話しをし尽くして伝わっていると思っていたのに、実はほとんど思いが伝わっていないことに後で気がつき愕然としたことがあります。考え方をしつかり伝えるには、普段からよく「ミニユニケーション」とり、相手の気持ちや考え方を知っておく必要があります。それでも、なかなか伝わらないことが多いのかと思います。だから、繰り返し繰り返し、話しをすることが重要であると思います。

過去と他人は変えられないが、未来と自分は変えることができます。そして、未来と自分を変えることができるものは他ならない自分です。自分の力では変えられないことにこだわらない。自分の力で変えられることに力を尽くすことが大切です。普段仕事をしていて何かうまくいかないことがあれば、状況や他の人のせいにして自分をごまかしてしまいがちです。それで、あの時ああすればよかったとかの人人がしてくれていたらこんなことは起きなかつたと考えがちですが、本当のところ、未来と自分しか変えることができないということだと思います。

私がこの研修を聞かせもらったのはほどんど後の座席で会場出口近くでした。そして、発表が終わられた講演者は私の座る座席の横を通り過ぎようとしていました。この講演にいたく感動して強く拍手をしながら見守っていました。高田明さんも公演後、参加者からの盛大な拍手を受けながら退出して行こうとして私の横を通り過ぎようとしていました。すると、満面の笑顔で手を差し出してくれたので、両手で握手させて頂きました。これも何かの縁です。この講演で学んだことをしつかりと実践して行こうと固く誓いました。



# 医務室だより 「今、わたし達ができること」



皆さんいかがお過ごしでしょうか。

今年も苑の周りでは見事な桜が咲いていますが、なんだか物悲しい気持ちになります。日本人にとって桜は特別なもので年を重ねる毎にその意味合いも変わっていく物だと思います。

今、世の中、世界は新型コロナウイルスの蔓延で命の危機にさらされています。誰が今のこの状態を想像したでしょうか。すでに諸外国は医療崩壊が起き、プロである医療従事者も感染するなど、もはや危機的状況です。

私達のできることは何でしょうか。

生きていくための最低限の外出、人との接触を避けるなど、一人一人の行動が全てなのだと思います。日本はまだ大丈夫とか、私は感染しないとか勝手な判断はやめましょう。誰がいつ感染しても不思議ではない状況です。自分の命を守るため、大切な家族、友人を守るためです。

「助ける命を選別する」

という言葉を聞いた時、そっとしたのと同時に悲しい気持ちになりました。あつてはならないことが現実に想定されることにどれだけの人々が危機意識を持っているでしょうか。特効薬もなければワクチンもありません。一人一人の行動こそが感染を防ぎ、拡大させない唯一の方法だということを理解して欲しいと切に願います。

みんなで乗り越えましょう。

そして来年は誰もが穏やかな気持ちで大切な人達とお花見が出来るこことを祈っています。

(看護主任 大島さおり)



# 新入職員が入職しました。

今年度、社会福祉法人三幸福祉会は、十七名の新入職員が入職しました。集中研修を経て、老人保健施設と特別養護老人ホームに配属後、OJTを通じて仕事の基礎学びます。その後、実務に就き、更なる成長が期待されます。



特別養護老人ホーム 清華苑に配属された10名の職員をご紹介します！ どうぞ宜しくお願いします！！



井上 優

22歳

私の自慢：折り紙

自己PR：  
学生時代にボランティアで認知症カフェに参加していました。自分の思いを伝えることが苦手ですが、人の話を聞いたり関わることは好きです。これから一生懸命頑張っていくのでよろしくお願ひします。

粟田 瑞希

20歳

私の自慢：観察力

自己PR：  
私の場所は責任感がある事と観察力がある事であります。頼まれた事は最後までやりきる利用者の方の少しの変化に気付けるようになります。また、健常に日々過ごせるように体調を管理し笑顔を絶やさず務めます。

田中 富士太

25歳

私の自慢：人と会話を楽しく出来るところ

自己PR：  
私は介護員として働きますが、働いていくにあたって利用者の方々は勿論の事、職員にとっても、過ごしやすい介護現場を目指して務めていきたいと思います。自分自身もまだですが、よろしくお願いします。

中川 莉緒

20歳

私の自慢：身長が高い

自己PR：  
私の強みは責任感があるところです。高校時代では、生徒会執行部に所属し、文化祭を始め多くの行事に携わり企画進行をしていました。高校時代に培った経験を現場でも活かせるようにしてみたいと思います。

斎藤 里奈

18歳

私の自慢：笑顔

自己PR：  
私は、相手の状況や気持ちを理解し、気遣いの心を持って接する事ができます。信頼関係を築くために、小さな気づきを大切にし、強みである細かな気遣いを生かしています。よろしくお願いします。

田淵 桃香

22歳

私の自慢：誰とでも打ち解けられること

自己PR：  
中学時代は卓球部で近畿大会に出ました（補欠ですが…）

中村 柚月

18歳

私の自慢：中学校・卓球部で近畿大会に出ました（補欠ですが…）

西村 祐真

27歳

私の自慢：いろんな人とコミュニケーションを取ることです

松田 明日香

22歳

私の自慢：地道な作業

自己PR：  
私は地道な作業が好きで、最近ではジグソーパズルを作ることに没まっています。仕事においても、地道にコツコツと経験を積み重ね一人前になれるよう努力してきました。よろしくお願いします。

古谷 沙季

22歳

私の自慢：お菓子作り

自己PR：  
私はお菓子作りが好きで、最近ではジグソーパズルを作ることに没まっています。仕事においても、地道にコツコツと経験を積み重ね一人前になれるよう努力してきました。よろしくお願いします。

総務部長

田村智之の

コラムコーナー



皆様とのごえんがあつこそ！

縁 to 円 to 苑

VOL.6



この原稿を書いている今、世界

はないでしょうか。

## 不安を安心に変えよう

中で新型コロナウイルスに関するニュースが飛び交っています。

思われているかといった人の目や自分の将来のことなども同じです。「分からなければ不安」ではなく、調べたり確かめたりすることで見えてくる部分があります。

実際に感染して辛い思いをしている方や命を落とした方も多くいます。同時に「自分が感染するかもしれない」という不安が私たちを覆いつくそうとしています。

ウイルスだけではなく不安も人々に蔓延していきます。不安が不安を呼びどんどん不安になってしまって、毎日トイレットペーパーを買ったり、トイレットペーパーの買い占め行動でも目の当たりにしました。

そもそも人は目に見えないものに対して不安が大きくなっています。もちろん今回のコロナウイルスのように未知のものに対して不安を覚えるのは仕方ありませんが、何が一体不安なのか、不安の正体はなんのか、そしてその不安に関する正しい情報は何なのか、冷静に考えれば不安が和らぎ、いずれ解決策が見えてくることもあります。

ここでポイントなのは、不安は自分自身の心との向き合い方ということです。不安になるのは、あのせいで、あるいは悪いなど外環境のせいにせず、今自分が一体何ができるのか、何をすべきかを考えて自ら行動することで、不安を安心に変えていくことができます。

何事においても一方的に与えられた見えない情報に臆することなく、自分の目で確かめて、安心して歩みを進めていたいものです。

(総務部長 田村智之)

トイレットペーパーやティッシュペーパーの買い占め行動は不安の波が正しい情報を飲み込んでしまった結果と言えるので



# HELLO STAFF

## Kazuki

ISSUE  
09

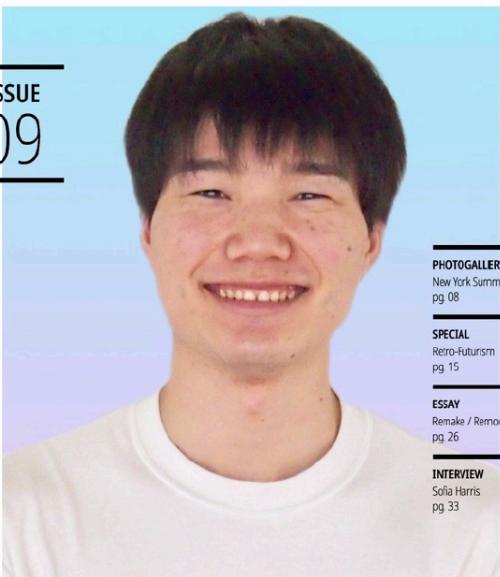


PHOTO GALLERY  
New York Summer  
pg. 08

SPECIAL  
Retro-futurism  
pg. 15

ESSAY  
Remake / Remodel  
pg. 26

INTERVIEW  
Sofia Harris  
pg. 33

#LOVE #OOTD #PEOPLE #FASHION #PHOTOOTHDAY  
#LIFESTYLE #SUPPORT #LIKE4LIKE #TBT #SELFIE #DAILY #TAGS4LIKES #PHOTOGRAPHY

- ・趣味： 体を動かすこと
- ・特技： 笑顔を絶やさないこと
- ・休日の過ごし方： 嫁と家でゴロゴロしています

## スタッフ紹介コーナー

### 介護員 駒澤 和希

コマザワ カズキ

#### 【私の履歴書】

私は高校を卒業してこの仕事を始めました。初めての社会で何も分からなく不安なことが多かったです。しかし、職場の人達が優しく教えてくれ、とても過ごしやすさもあり、成長もできたと思っています。(まだまだ未熟ですが)なので私は後輩に対しても同じように思ってほしいと思っています。後輩にも「一緒にいて過ごしやすく、人として成長できた。」と思ってもらえるよう日頃から努力しています。

#### 【私のポリシー】

ご利用者は、当たり前ですが一人の人間です。ご利用者の心に寄り添うような介護士を目指しています。ご利用者に快適な日々を過ごしてもらえるように考えています。

#### 【自己PR】

つい最近結婚をしました！！  
すごく良いことで嬉しかったですが、結婚したことでの自分自身の考え方の甘さというのにも気付くことができました。気付けたことでこれから先、改善できます。そして成長します。皆さんも傷付いたことがあった時、下を向かないで上を向きましょう。きっと上手くいきます。その証拠として私は今、幸せです。  
(笑)



## 看護師 赤堀 奈央

アカホリ ナオ

#### 【私のポリシー】

全ての職種の方々とコミュニケーションをとり良いことは自分に取り入れるようにしています。また、自分の持っている知識、技術も少しずつ共有し、よりよい看護、介護ができればいいなと思っています。壁をつくるのは嫌いなので何でも気軽に聞いていただければと思います。

#### 【ご利用者との関わり】

一人一人個性がありその人に合った関わりができればいいなと思っています。自分自身も日々前進し成長できればと思いながら日々働いています。

#### 【自己PR】

常に對等の立場に立つことを意識し、相手の立場に立って考えるように心がけています。自由人で時々自分の世界にいっていることがよくあります。楽しく仕事していけたらと思います。



BEAUTY - LIFE - MAGAZINE 4 - 10 JULY 1989

## New Style

GLOBAL BEST BEAUTY MAGAZINE

ALL about  
the  
Beauty  
3IP

All About CREATORS

Best Music of the Week  
THE EXPERTS ISSUE

today's fashion style?

Akahori Nao  
you have to



\$1.2

- ・趣味： ドライブ、運動、カラオケ
- ・特技： スノボ、球技、バッティング
- ・休日の過ごし方： カラオケ、歩いて海に散歩など

# 朝礼 今日のひとことコーナー

令和2年1月～令和2年4月抜粋

今年は四十二歳になる年で、世間一般でいう「後厄」です。男性は数え年で二十五歳、四十二歳、六十一歳、女性は十九歳、三十三歳、三十七歳が厄年にあるとされています。厄年の前後には「前厄」と「後厄」があります。ここまで「前厄」「本厄」の一年が過ぎて、あと一年嫌だなあと思っていたときに良い話に出会ったのでご紹介します。

「日本の神さまと上手に暮らす法」の著者・中村氏が【やく年】のやくは、厄介の【厄】でなく役割の【役】だと表現していました。それは厄年には色々な説がある中で、「役割を与えられる年」というものがあるからだそうです。

「役割を担うぞ」という気持ちで、役年を迎えるのか、「厄払いをしないとこわい」という気持ちで、厄年を迎えるのか。ちょっとしたことですら、どちらの気持ちで受け止めるかで、一年の過ごし方が変わってくる気がします。

そうなると神社に行く目的が【厄払い】ではなく、【役割を担う年】になるまで健康に過ごせたことを感謝し、新たな役割に対する決意を神様に伝える】に変わります。少なくとも、感謝をするとき、人はネガティブな気持ちにはなりません。ネガティブよりはポジティブの方がいいです。

二〇一〇年、それぞれに苦しいこと、辛いことがあると思いませんが、どうせ乗り越えないといけないなら発想の転換でポジティブに受け止めてみてはいかがでしょうか。

(総務部長 田村智之)



先日、中高の同級生の結婚式に参加しました。新郎、新婦共に元クラスメイトでごく近しい友人のみ招待されていました。新郎の長い片思いを知っている全員元クラスメイトで、新郎の長い片思いを知っている全員元クラスメイトで、新郎の長い片思いを知っている気の置けない仲間が集まりました。

会場はちょっとした同窓会のようでした。式に向けてハキロも減量したという新婦はとてもきれいで、そして当日まで彼女のウエディングドレス姿を秘密にされていたという新郎はどの瞬間を切り取ってもこの上なく幸せそうでした。

二人の生い立ちムービーでは中学校に入学したてで本格的におしゃれを覚える前のあどけない頃の写真がたくさん使われており、新郎・新婦と一緒に写る若かりし自分たちを見て会場は阿鼻叫喚でしたが…。

そして「泣かないと決めている」と宣言してから両親への手紙を読み上げた新婦が途中で堪えきれずに涙を流したとき、彼女のお母さんが「笑って」と優しく声を掛けていたのが非常に印象的でした。

涙が出るほど美しく幸せなひと時を過ごさせてくれて、美味しい料理を食べさせてくれて、また久々に会つた折「お前は私たちと縁を切りたいのか」と親友に言われてしまうほど連絡不精の私にみんなとまた顔を合わせる機会をくれた新郎・新婦には感謝の気持ちでいっぱいです。二人の末永い幸せを心から願っています。

(介護員 宮崎眞子)



私の母は、頭が痛くなると氷でおでこを冷やす人です。先日も「夜中に痛みが出てきた。」と言つて、暗い台所へと向かいました。冷凍庫からあらかじめジップロックに入れている氷のかたまりを取り出し、おでこにのせて眠りにつきました。  
翌朝、母の様子を見に行くと枕元には解凍された「タコ」が転がっていました。

(介護員 中迫優衣)



## ★編集後記★

広報誌「はな華」をお読み頂きありがとうございます。

新型コロナウィルスの影響で世の中は、大変な状況ですが、「はな華」の紙面を通じて、苑内行事の様子やご利用者の日々の生活の様子をお伝えして、ご家族の方に安心をお届け出来ればと思います。

今回は四月に入職した新人職員の紹介と観桜会の様子を中心に掲載しています。これからも皆様に楽しんで頂ける「はな華」を発行して参ります。

(生活相談員 鶴岡大樹)

